

(別紙様式 3 6 - 6)

がん具煙火貯蔵庫「保安検査」事前調査票

作成者職・氏名 _____

連絡先電話番号 _____

事業所名		代表者職・氏名		
事業所所在地				
電話番号		ファックス番号		
取扱保安責任者	資格	正 (甲 ・ 乙)	副 (甲 ・ 乙)	代理 (甲 ・ 乙)
	氏名			
がん具煙火貯蔵庫の所在地				
がん具煙火貯蔵庫	許可火薬類の種類	許可貯蔵量 kg	定期自主検査実施日	
	号棟		年度	
	号棟		第 1 回 年 月 日	
	号棟		第 2 回 年 月 日	
号棟				
第 1 種保安物件名	第 2 種保安物件名	第 3 種保安物件名	第 4 種保安物件名	
法定保安距離 メートル	法定保安距離 メートル	法定保安距離 メートル	法定保安距離 メートル	
申請書面保安距離 メートル	申請書面保安距離 メートル	申請書面保安距離 メートル	申請書面保安距離 メートル	
実測保安距離 メートル	実測保安距離 メートル	実測保安距離 メートル	実測保安距離 メートル	
検査項目	省令等	検査基準	判定基準	自己点検結果
位置	規則 2 4 条 1 号	湿地を避けた位置とする。	地盤の湿気の状態を確認すること。	適 ・ 否
構造	同 2 9 条 1 号	平屋建、鉄網モルタル塗、漆喰塗等とする。	構造が許可を受けずに変更されていないこと。 ヒビ割れのないこと。	適 ・ 否
盗難防止	同 2 9 条 2 号	錠を付け、盗難防止の措置をする。	錠の確認、通気孔や換気孔の破損がないこと。	適 ・ 否
防火壁	告 5 9 号 1 号 イ	貯蔵庫の外壁から 2 メートル以上の距離で、できるだけ接近して構築する。	外壁の位置の変更がないか確認すること。	適 ・ 否
	同 ロ	鉄筋コンクリート造、補強コンクリートブロックブロック造又は鉄板若しくは耐火性の板を補強した構造のものとし、基礎は堅牢にする。	基礎部が露出していないこと。 耐火塗料の剥げ、腐食等がないこと。 補強の措置が十分であること。	適 ・ 否
	同 ハ	高さは、天井がある場合は天井から 5 0 センチ以上、その他の場合は、屋根の高さ以上とする。	無許可で改修、改築等の変更がないこと。	適 ・ 否
	同 ニ	厚さは、鉄板の場合は 0.35 ミリ (最大貯蔵量 2 トン以下の	無許可で改修、改築等の変更がないこと。	適 ・ 否

		場合は 0.25 ミリ) 以上、その他の場合は 3 ミリ以上とする。		
隔 壁	告 5 2 号 1 号	鉄筋コンクリート造又は補強コンクリートブロック造とし、基礎は堅牢とする。	基礎が露出していないか確認すること。	適 ・ 否
	同 2 号	建物の両側に 1 ミリ以上張りだし、かつ、貯蔵庫の屋根の表面から 50 ミリ以上高くする。	無許可で改修、改築等の変更がないこと。	適 ・ 否
	同 3 号	厚さは、鉄筋コンクリート造の場合 10 ミリ以上。補強コンクリートブロック造の場合 15 ミリ以上。	無許可で改修、改築等の変更がないこと。	適 ・ 否